

活力みなぎる緑の郷土

# 議会だより

なかしべつ



新入学生を交通事故から守りましょう

## 主な内容

H15年3月定例会	P 2
行政報告・教育報告	P 3
一般質問	P 4 ~ 8
予算、意見書等	P 9
予算審査特別委員会	P 10 ~ 12
条例制定・改正	P 13

平成15年4月

No. 57

平成15年

# 3月定例会



中標津町運動公園、スケート・アイスホッケーリンク完成予想図

平成十五年三月定例会は、三月五日から十七日まで開催されました。一般行政報告、教育行政報告の他、一般質問には七名の議員が十項目について理事者の考えを質しました。また、各会計予算の審議のため、予算審査特別委員会が設置され、三日間にわたって説明と質疑が行われました。この他、各会計補正予算、条例の制定と改正等十六件、人事案件二件、意見案二件など三十六件を原案通り可決しました。



管理棟完成予想図

# 一般行政報告

## 要望等について

中標津空港利用促進期成会として、東京～中標津線の二便運行、また、根室地方総合開発期成会として、平成十五年酪農・畜産振興対策について関係各省庁及び国会議員等に対して要請を行いました。

次は、国および国会議員に対し議長にも出席を願って町村合併の強制や、人口が一定規模に満たない町村の権限を制限・縮小したり他の自治体へ編入することは絶対しないこと等を要請いたしました。

## 寄贈金品について

町に対し、現金で四件、三百七十万円、社会福祉協議会に対しても現金で、四十五件、二百三十三万九千三百五十円の善意が寄せられました。

## 合併検討協議会について

市町村合併検討会議は、四

町の町長が出席し開催されました。(内容については広報二月号に掲載)



道町村会は、市町村のあり方についての提言で「連合自治体制度の創設」を示しております。

道内の市町村は、面積が廣大・過疎市町村が多いなどが議論されているが「北海道の特徴からは、合併検討には苦慮している」として、道と道内の市町村長九名による「北海道・自治のかたち円卓会議」を設置し提言を発表するとされていきます。

道内における合併についての動きが更に活発になること

から合併研究・検討を進めていきたいと考えております。

## 町立病院の診療体制について

町立病院の診療体制は、十三診療科でサービスの提供を図っており、年々患者数も増加しております。

しかし、整形外科医師の派遣取り止めの通知があり、国の制度改革からのことでもあることから理解せざるをえないところですが、患者数も非

# 教育行政報告

## 各種大会出場結果について

スポーツ関係では、全道小学生バレーボール選抜優勝大会に丸山ファイターズが出場、準決勝まで進んだのをはじめ、東北海道スピードスケート大会では、二十三名が出場、一種目に優勝のほか、サッカーやスケート・アイスホッケーなどに出場し善戦健闘してまいりました。

常に多いことから道内の他医育大学および、道・関係機関を通して医師の確保、固定化に向けて整形外科診療の継続に努力を重ねております。

## 平成十四年度、建設工事の発注状況について

平成十五年二月二十七日現在では、発注件数百九十七件金額では、四十四億三千四百二十一万三千円であり、率では九十九、九%となっております。

ルコンクールに出場し銀賞のほか、農業高校が東北北海道農業クラブ連盟実績発表会に出場し、優秀賞に選ばれ全道大会出場が決定。

また、中標津高校合唱部は全道音楽大会で最優秀賞に輝いた。

## 平成十四年度根室管内教育実践関係表彰の受賞について

教育実践の成果が高く評価され、総合賞では、東小学校と若竹小学校。実践賞は、保落中学校で、三校が表彰されました。

## 児童生徒交流事業について

十回目となる若竹小学校と沖縄県伊平屋村立小学校が交流を行い、保護者、教育委員会、教員を含め四十名が来町いたしました。

次に、二回目となりました児童会・生徒会の交流を各生徒代表十五校、五十七名の参加のもと開催、異年齢の交流会としてたいへん有意義なものとなりました。



N中吹奏楽部



# 一般質問

あなたにかわって町政の考え方を質す

7名の議員が町理事者に質問しました。  
その内容を要約し掲載します。

## ゴミ処理問題

### 広域連合の推移を見て検討

町長 殿守 富 議員

#### 質問

ゴミ焼却施設建設場所と施設建設の見通しはどうなっているのか。

場所が二転三転し、二年間が過ぎても決定しないが、色々と影響が出ていないか。

焼却施設建設が遅れていることに住民への説明がないのでは。焼却ゴミを根室市に十六年から委託処理予定だが、もう少し早くできないか。また、今後十年間根室へ委託を依頼した場合

と、焼却施設を建設した場合の負担の比較を示してほしい。

#### 町長答弁

場所の選定が遅れているが、本年度中に見通しがつくことが前提で、十九年度供用開始予定です。予定した建設場



ゴミ最終処分場

所二ヶ所の環境影響調査等は結果として無駄もあるが、データ等是一部利用も可能である。埋立地延命のために、根室市への委託処理時期を早めること

は、早い時期に判断したい。

仮に今後十年間比較した場合の処理費が十九億円強・建設費が約二十三億円だが、入札結果やゴミ量増減等に

#### 再質問

焼却施設建設により、根室市に運んだ方が安いと分かったが、町村合併や、財政問題等不明瞭な時期が過ぎるまでは、現在の計画を一旦中断し、色々な選択を考えてはどうか。

#### 再答弁

焼却施設候補予定地の住民合意は百%に至っていないが、最終的場面に来ると思うので、これまで広域連合で進めて来た経過もあり、推移を見守りながら考えたい。

## 町立病院の会計処理は

### 「地方公営企業法」により処理

町長 笹谷 芳夫 議員

#### 質問

職員給与は人事院勧告に基づいて改定され給与カットまでしたが、町の外郭団体はどうか、厳しい財政の中、大所帯の町立病院はどうなっているのか。

企業会計処理の点で定率法・

定額法の二種類ある減価償却は、町立病院のような実質大幅赤字の企業会計ではあえて赤字幅を大きくするだけで計上してまで内部留保をする必要性はないのではないか。

#### 町長答弁

外郭団体は町の給与表を参考に決定している、病院職員も医師職を除き同様です。

減価償却費は「地方公営企業法」により収益に関係なく計上しなければならない、定額法を用いている。

医療機器類整備の中には、ご指摘の点で別の運用法があれば可能性を検討したい。



## 町営プールの冬期運営

笹谷芳夫 議員

### 利用者の立場で検討

教育 長

#### 質問

巨額の施設投資をした温水プールを施設点検と称して冬期間一カ月半の閉鎖をしている。

また、冬時間と称して閉館時間を早めなければならぬ合理的理由がみつからない。シャワー等整備不十分なものもある。

利用者を増やし、生涯を健康に過ごせる住民をいかに多くするかが求められる。利用者の立場に立った施設運営が肝要だが、冬期閉館の変更はできないか。

#### 教育長答弁

毎年冬期の一カ月半を施設閉

鎖し総合的施設整備点検を実施している。

次年度は利用者の利便性の向上を研究するため、利用団体・生涯学習委員会等の意見を聴き検討したい。

冬期の使用時間延長は試験実施も含め、本格実施にむけて問題点の整理をしたい。

整備の不具合は今後とも改善に向け日々心がけたい。



町営温水プール

## BSE発生時対策と発生農家への支援対策

岡部 實 議員

### 万全の対策を

町 長

#### 質問

平成十三年九月十日我が国で初めてBSE感染牛が確認され、国内に大きな衝撃が走りしました。加えて

国の初動のまずさやマスコミの過剰とも思われる報道が消費者の不安を拡大し、更に商社による牛肉偽装事件等により、牛肉に対する信頼性を一層失墜させまし



た。

その後、国も国民に対しBSEの正しい説明や、と殺牛の全

頭検査体制の確立により、安全な牛肉以外は店頭に出回らないシステムを確立し、消費者の

不安は徐々に解消されました。

しかし、いまだに感染原因と感染経路が究明されておらず、酪農・畜産関係者の不安は少しも消えておりません。万が一当町で感染牛が確認された場合の対策がどのようになっていきますか。

次に不幸にして感染牛が確認された農家への支援対策についてお伺い致します。現時点では感染牛が確認された農家の同居牛の八割近くが処分されることとなり、自力での営農再開は極めて困難であります。町としてどのような支援策を考えていますか。

#### 町長答弁

一昨年九月のBSE発生後、直ちに関係機関と対策本部及び対策協議会、家畜伝染病防疫現地対策本部を設置し、更に去る二月二十一日根室管内担当課長会議を開催し、発生時における迅速適正に対応する管内統一マニュアルを検討し発生時の対応に万全を期す所存であります。

次に発生農家への支援対策ですが、国・道の支援対策と合わせて町と致しましても農協・関係機関との連携を密にし発生農家の経営再開に不安のないよう対策を講じてまいります。

## 今行政に求められるもの

田中利夫 議員

### 「協働」意識の向上

町 長

#### 質問

東方産業クラスター創造研究会による循環産業の創出、中心市街地空洞化の再生、根釧農試の由緒ある建物の保存等、町民自立活動が活発になっていきます。今行政は、その町民意識の改革を本気で受け止め、住民と「協働」の元気な町づくりを推進するときに考えます。

手法は多様ですが、識見を有する職員パワーが最たる原動力で職員参加の意識高揚と能力開発が必要で、次の二点について町長の



所見をうかがいます。  
一、町づくり、企業創出、中小企業の活性化に対する支援にどのような努力をしていますか。

二、今後元気な町づくりの手法で、職員パワーをどう発揮させようと思っていますか。

#### 町長答弁

一点目は、法規制の緩和や起業支援制度の紹介、若手後継者の育成等を支援してまいります。二点目の町職員の町づくりへの参加は、プロとして横断的な

組織で研究・検討を進めておりますが、町づくりは町民意識の高揚参加が根源と考えており、職員は専門職として住民と行政の「協働」を実践する重要な役割を担っていますので、より一層意識を強め、能力開発にあらゆる場を活用して促進に努めてまいります。

また、町づくりには色々な人の参加が必要ですから、職員も一人の住民として、イベントやボランティア活動・町内会活動に参加するよう意識の向上に努めてまいります。

## 行政と民間による町づくり

三友盛行 議員

### 官民協働の町・人づくり

町 長

#### 質問

緊縮財政下といえども、町づくり・人づくりへの継続・発展は不可欠のものであり、行政のスリム化、官と民の連携、民への委託等、創意と工夫が求められています。

今日の中標準発展の礎えを築いた先人の苦勞の足跡を聞いて・見て・触れて・体験して学ぶ場として、また、酪農・畜産の生産現場、亜寒帯気候・地理・

地勢、そして、交通の要衝としての特色を生かした大学等の研究施設の誘致には根釧農試の旧庁舎の活用が最適です。

町民の支援を受け、保存の会がNPOを立ち上げ利活用の方策を考えていますので、町は行政使命の分野を担ってもらうなどして、まちづくり・人づくりが同時に進行するという時代に相応しい「協働」の具体的事例として取り組んでいただきたい。

また、行政分野に関連するNPOに対する町の認識と支援の方策についてうかがいます。

#### 町長答弁

町としては旧庁舎の果たしてきた役割りと、町民の思い入れに鑑み、保存団体のNPO設立や再利用計画の樹立まで旧庁舎の解体延期を道に要請しました。



旧根釧農試庁舎

大学施設等誘致の可能性があれば、保存推進会とも協議・検討してみたいと思います。

NPOに対しては、立ち上げや計画等に対する関連部局の支援、財政的にもできる

ことがあれば対応したいと考えています。

#### 教育長答弁

旧庁舎の利活用の一部として、郷土館資料の提供や郷土館の在り方など、官民協働の町づくり・人づくりとして検討します。



## 開陽台周辺町有地の利用

### 林地としての検討も

安達 勉 議員

町 長

#### 質問

開陽台は武佐岳と共に中標津町のシンボルであり、一次産業の酪農の振興に大きく役立っている町営育成牧場があります。平成十三年に取得した開陽牧場跡地二百ヘクタールの利用方法につ



植林風景

いてお聞きします。二十一世紀は環境の時代といわれ代表的なのが森林で、水の確保、空気の浄化を促し、動植物の生存、人への心の安らぎを与えるものです。北側を植林し森林にしたらどうか。川の水は年々減っています。

#### 町長答弁

未来を考え、一年でも早く実行する事が今我々にかせられた責任であると考えますが。

国・道・町の財政も非常に厳しい状況にあり、開陽牧場跡地利用につきましてはホーストレスキングコースとして利用している状況にあります。

植林のお話につきましては、議員ご提案の趣旨に賛同する部分が多々あり、ぜひとも皆様のご理解を得て取り組みたいと考えています。

#### 再質問

針葉樹と広葉樹を組み合わせ、動物が住みやすい森林が大事だと考えますが。

#### 町長答弁

町全体の植林につきましては広葉樹が少ない現状です。開陽台周辺も広葉樹を植林してまいりたいと考えております。

## 合併問題と地域振興ビジョンのアップデート

松村康弘 議員

### 予定される、任意の合併協議会」で

町 長

#### 質問

私は、羅臼・標津・中標津の三町で合併して、北方四島をも視点に入れた、さらなる交流拠点構想を進めるべきと主張してまいりました。

釧路における議論が聞こえてまいります。自治体職員の大規模削減（特に周辺の町村において顕著で過疎につながる）によって急速に財政状況が改善され

るような、いわゆる吸収合併には小さな自治体は乗れるはずもなく、そんな意味で地域振興の展望がないさらなる過疎を予感させる合併強制への反発と怯えについては、私達は深く思いやる必要があると考えます。

中核都市を自称する我が町、そして、政治のトップリーダーとして、例えば羅臼町、魚の城下町にあって、大陸から来るト

ロール漁船を対岸のクナシリ島の自治体と協働して阻止する。

また、標津町のマリンパークを活用して港町の賑いを創出する。そのためには、根室市と役



なお、例年実施しております森林公園の植樹祭も、遠くなりませんがご質問の跡地で検討したいと考えます。

#### 町長答弁

四町で任意の合併協議会が予定され、その中で将来の市町村計画が明らかになる予定で、それぞれの首長が努力中なので、現段階にあっては他町のことを申しあげる状況にありません。

## 地域経済産業連関調査

松村康弘 議員

### 行政評価を基本に

町 長

#### 質問

緊縮財政がさらに進み、支出に大ナタをふるわなければならぬ時期が来るのは必定です。その際、限られた財源を最も

有効に投じようとするなら、地域の経済産業が現在どのよう相互に関連し合っているかを示す、連関調査を実施すべき時期ではないでしょうか。

教育や福祉の需要額を削るには限界があり、その場合もし公

共事業を緊急避難的に失業対策事業と位置付けて、資材購入の必要のない維持業務に集中した

としたら、どのような影響が出たのかを予測したり、観光客を10%増やすためにどこに投資するのが効果的か、などの判断をする必要に迫られてくると考えます。

#### 町長答弁

各種統計の収集と分析からスタートしてみませんが、

提案の連関調査については、効果は十分期待できるが、地域範囲はもう少し広いゾーンを想定した方が効果的であり、費用対効果を考えると当町一町で研究すべきものではないと考える。平成十三年度より検討を進めてきている行政評価を基本とした予算編成に意を注ぎ、期待される要素について対応していきたいと考えるのでご理解をいただきたい。



## 耕地防風林の風倒木撤去

松村康弘 議員

### 撤去も含め整備・保全に

町 長

#### 質問

昨年の秋の台風で当地域では経験しないような南風が吹き、耕地防風林の中のカラマツが根こそぎ倒れている状況が、この冬場になって落葉により明らかになってきたいます。

新年度、八百万円余の枝打ち緊急雇用対策の予算措置がされている「格子状防風林」ではあ

りますが、この現況に対応する配慮はなされていますか。

森林管理署と十分協議の上、地域の森林林業に関する産業クラスターと景観形成の相乗効果を狙った政策立案が求められていると思えますが、いかが。

#### 町長答弁

風倒木が大量に発生した場合

は、激甚災害地域に指定され災害復旧事業で対応が可能です。虫くい状の倒木状況など発生本数が少なければ町単費での対応となるが、比較的危険性の少ない森林については、既存の森林整備事業実施時に処理していきたい。

にその旨申し伝えたところです。また、私有林については森林組合と連携し対応したい。いずれにしても、地球環境の視点をいれて根柢台地の格子状防風林の整備・保全に努めていく所存でありますのでご理解をいただきます。

町の耕地防風林の七割は国有林であり提案の趣旨については二月二十六日、根

柵東部森林管理署長



カラマツの風倒木

視点をいれて根柢台地の格子状防風林の整備・保全に努めていく所存でありますのでご理解をいただきます。



# 3月定例会で決まりました

平成15年3月5日から17日まで開催し、議決された主なものを掲載いたします。

## 3月補正予算（14年度分）

一般会計は

178,683千円を追加し、15,369,472千円となりました。

国民健康保険事業特別会計予算は

64,157千円を追加し、2,284,811千円となりました。

介護保険事業特別会計予算は

54,757千円を追加し、947,715千円となりました。

町営牧場特別会計予算は

14,500千円を追加し、113,840千円となりました。

下水道事業特別会計予算は

6,679千円を減額し、1,881,356千円となりました。

水道事業会計予算は

33,839千円を減額し、859,792千円となりました。

## 平成15年度各会計予算

全会計予算総額 26,875,184千円  
(前年対比383,298千円減)

一般会計予算

14,231,000千円 (前年対比753,000千円減)

国民健康保険事業特別会計予算

2,440,113千円 (前年対比308,372千円増)

老人保健特別会計予算

1,729,887千円 (前年対比94,485千円増)

介護保険事業特別会計予算

917,615千円 (前年対比39,747千円増)

公設地方卸売市場事業特別会計予算

21,196千円 (前年対比498千円減)

町営牧場特別会計予算

98,181千円 (前年対比1,867千円減)

下水道事業特別会計予算

1,595,305千円 (前年対比193,046千円減)

水道事業会計予算

804,097千円 (前年対比91,202千円減)

町立中標津病院事業会計予算

5,037,790千円 (前年対比213,711千円増)

## 臨時会

平成十五年

中標津町議会第一回臨時会

(平成十五年一月十五日開催)

町道路線の認定及び廃止について、七路線が町道に認定され、五路線が町道から廃止されました。

## 意見書

酪農・畜産政策・価格対策に関する意見書

提出者 田中 利夫 議員

医療費三割自己負担の実施延期を求める意見書

提出者 笹谷 芳夫 議員

## 人事



伊藤 肇 氏



大野 昇 氏

根室支庁管内町村公平委員会委員に選任

人権擁護委員の推薦に同意

# 3月定例会

## 委員会一問一答…

主なものを掲載します

【質問】

地図情報システムGISの構築が始まるが、このシステムに色々な個人情報載せることで、地方自治体の事務処理は大幅に改善されると考えるが、土地の地形から建物の所有者の福祉や税の情報まで載せたものが、国と地方自治体を結ぶ行政専用ネットワーク導入により電ケ関に直結するということは、時によって政府が国民一人ひとりの情報に接することができる訳で、基本的な人権の問題も発生する可能性があるが町の対応は。

【答弁】

行政間の文章のやり取りのためのシステム構築で問題はないと考えている。現在の体制で対応可能と考える。

【質問】

行政評価システム推進費、二十万三千円から十一万三千円となっているが、十分なシステムが出来上がったということですか。

【答弁】

一昨年より庁舎内にて各部署をあげて鋭意検討をしてきました。

【再質問】

行政評価は庁舎内だけでな

く、次の段階として、町民から見た評価が必要と思えますので今後の対策は。

【答弁】

次は、町民の評価を聞くために必要な機関を設けたいと思っており、また、評価によって政策を点検・検討してまいります。



【質問】

収納率向上対策推進経費、昨年比較で半額となっているが効果があつてのことですか。

【答弁】

道職員の派遣も受け、若干の向上が見られました。

徴収には専門的知識が必要であり、昨年同様二名の配置はそのままですが、町職員と組み合わせて活動することとしたため、仕事量に応じた人

件費部分が減額となりました。

【質問】

民生委員研修に要する経費五十四万円については民生委員何名中、参加されるのは何名ですか。また、通常時の業務内容について説明願います。

【答弁】

民生委員は全町で五十四名であり、道内研修参加者は二十七名、任期三年間中、一年目と二年目で全員参加となります。

通常業務については、毎月一回の会合を開催、各地域の問題点などを検討し、プライバシーを遵守しながら問題解決にむけて努力をしていただいております。

【質問】

総合福祉センター設置条例制定の際に、社会福祉協議会を事務局とした運営協議会的なものを立ち上げて、運営に寄りたいとのことであったが、オープンにあたって、この協議はなされておらず、住民からの苦情も聞こえてくる。運営の責任は町にあり(協は窓口業務)十分な広報と住民の意に沿う運営が求められていますか。

【答弁】

指摘の趣旨を重く受け取って、センターに集う住民の相互理解を得るような運営を心がけたい。

【質問】

へき地保育所二ヶ所において、二度にわたって盗難事件が発生し、危機管理を促しましたが、予算では減額になっています。どのようにお考えですか。

【答弁】

現在ステッカーや防犯ベルなど効果的な方策をとっておりますが、対応が不十分な場合は、増額を含めて早急に対処します。

【質問】

平成十六年十一月より、ふん尿規制が始まりますが、現在の施設整備状況と、規模拡大による収容不可能な増設についておたずねします。

【答弁】

農家戸数三百五十一戸で、百八十三戸、五十二%が終了しており、十五年で六十五%、残りは十六年としております。増設については、これらが終了後の検討となります。

【質問】

ふん尿対策として、屋根付き堆肥舎の整備は進んでいますが、一方では臭いの対策は

平成15年

# 予算審査特別委

いまだ手つかずです。

市街地や空港等、臭いが充満し、田園都市の将来に影響があります。

臭い防止のため町は予算を計上して生産現場・行政・根釧農試と共同研究、開発を計画してはどうか。

【答弁】

臭い対策は地域や観光にとっても重要な課題です。

関係機関と協議をし、町としてもできることは積極的に検討してまいります。

【質問】

根釧台地の格子状防風林整備は、国の雇用対策として、平成十四年から三年間限措置として予算化されたものであり、十六年以降も継続する必要がありますが考えます。また、中標津町が策定した「緑の基本計画」に、将来大きくかわって来る問題と考えます。

以上の点について町長の所見をうかがいたい。

【答弁】

ご指摘の通り雇用問題は重要な課題と考えており、国のセーフティネットの方針が早期に明示されることが望まれます。今後は関係機関を通して働きかけをしてまいります。

格子状防風林は中標津の財産でもあり、維持管理について町がどのようにかわって行けるのか、関係する機関と十分協議して対処して行きたい。

野生鳥獣保護対策費、昨年と同じ八万千円ですが、野生動物の保護活動を通して、動物や環境にやさしい中標津町という好いイメージを内外に知らせており、むしろ予算を増額して、その活動を積極的に支援すべきでは。

【質問】

道東野生動物センターには、医療薬などの助成を行っています。

【答弁】

同センターの果たしている役割は評価しており、町のPRも含め、今後検討してまいります。

【質問】

近年大手ハウスメーカーの町内進出が増加し、地元建築業界に与える影響も著しいものがあります。

地元企業が、地域性を生かした技術力と低コストな北国住宅の開発が求められます。

その支援としての事業費ですが、前年度の三割と減少しており、むしろ増額し、地元

企業を支援すべきです。

【答弁】

公的費用による研修会を計画するなどして、町負担を少なくしつつ、内容についてはより充実されています。

地元企業の育成・発展は行政の重要な課題であり、一層の充実を図ってまいります。

【質問】

平成十四年度から総合学習が教科に取り入れられました。が、どのような学習をされているのか、また、基幹産業の酪農を学習させるべきと思うし、外部講師として経験豊かな酪農家を講師に招くべきと考えますが。

【答弁】

今年度については、自然・人・環境など中心に体験学習を行ったところですが、ご指摘の中標津町の基幹産業である酪農について、今後どのようなかたちで学習するのか十分検討してまいります。

【質問】

中標津農業高校では、生産技術科・食品ビジネス科でバイオによる花の研究や食品の開発に努めて、その実績は認められています。これらをブランドとして地域の活性化に役立たせてほしいが。

【答弁】

それぞれ高く評価されていますので、今後生産から流通まで検討してまいります。

【質問】

病院会計の九億円余の繰入（町単費によるものは約三億）が続くなかで二百二十床の一般病床を、百八十床、療養病床十九床で、合計百九十九床にした根拠は何か。



町立病院待合ロビー

【答弁】

二百床未満になると、外来診療で医療報酬の増収になります。

【再質問】

この制度は新病院開設時に



わかっていたはずだが、開院以来の累積収入見込差額はいくらになるのか。

【答弁】  
四年間で約一億八千万円になる。

【再々質問】  
外来患者数から統計的に推定する入院患者は二百二十床を越えるはずで、経営の総合的改善も求められているのではないか。

【答弁】  
医師不足も要因ではあるが、さらに努力する。



【質問】  
病院経営では公設民営も考えられるが、町長は公設公営を選択されました。毎年、一般会計からルール分も含め十

億円近く繰り入れをしています。公設民営であれば、企業債償還分でおよそ五億五千万円よりよいことになり、一般会計負担が半分です済むのですが町長の考えは。

【答弁】  
公設民営という考え方もありましたが、民営化を行うためには若干の医療空白期間が生じると予想され、町としては、このような事態を招かないため、公設公営としました。

【質問】  
七億三千万円の預金を活用して、予算を編成していただきますが、結果預金残高は十億円となります。

来年度以降はどのような予算を組むことになるのか。

歳出の徹底した見直しといいますが、単なる節約であり、均衡縮小予算ではないか。

特に、福祉・民生費が削減され、農林業費・病院会計等、最も補助金の多いところでは、構造改革がなされていない。

【答弁】  
十五年度で大きな町債償還が終了するが、さらに構造改革を進めます。

また、行政の役割が終了した事業については随時、見直しをしていきます。

平成15年1月から3月までの行事関係

期日	行事内容	出席者等	期日	行事内容	出席者等
1月6日	町新年交礼会	議長 他	3月3日	標津依橋大規模草地一部事務組合、根室北部衛生組合、根室北部消防事務組合、中標津町外2町葬斎組合各議会	各議員
7日	町成人式	議長 他	4日	根室北部廃棄物処理広域連合議会	議員
8日	消防団出初式	議長 他	5日	3月定例会本会議(1日目)	全議員
9日	議会広報特別委員会	委員 員	6日	3月定例会本会議(2日目)	全議員
15日	第1回臨時会	全議員	7日	予算審査特別委員会(1日目)	全議員欠1人
	町表彰式	全議員	10日	産業・建設常任委員会	委員欠1人(建)
20日	議会広報特別委員会	委員欠1人	11日	総務・文教厚生常任委員会	委員
24日	建設常任委員会	委員欠1人	12日	予算審査特別委員会(2日目)	全議員欠1人
2月3日	管内町村議長会定期総会	正副議長	13日	予算審査特別委員会(3日目)	全議員欠1人
	管内1市4町議会正副議長協議会		14日	議会運営委員会	委員
7日	文教厚生常任委員会	委員	17日	3月定例会本会議(3日目)	全議員
13日	産業常任委員会	委員欠1人	20日	議会広報特別委員会	委員
14日	各賞受賞祝賀会	議長 他	24日	議会広報特別委員会	委員欠2人
25日	町村自治確立総決起大会(東京)		26日	第2回臨時会	全議員
	平成15年度酪農・畜産振興対策要望(東京)	議長	31日	議会広報特別委員会	委員欠1人
27日	議会運営委員会	委員			

# 条例の制定と改正

主なものを掲載します

## 町職員定数条例の一部を改正

- 町役場では十八人減、町立病院では看護師等で三十一人増、総数では五百二十七人から五百四十人となりました。

## 町営体育施設設置条例の一部を改正

- 体育館、温水プールトレーニング室、テニスコート、正美公園と森林公園のパークゴルフ場に六回を限度に回数券で利用可能となりました。
- さらに、シーズン券の共通利用ができることになりました。

## 総合福祉センター条例の一部を改正

- 総合福祉センター健康増進室に六回を限度とする回数券で利用可能となりました。

## シルバースポーツセンター設置条例の一部を改正

- シルバースポーツセンターに十二回を限度とする回数券で利用可能とな

りました。

## 在宅福祉事業条例の一部を改正

- ホームヘルプサービスの家事援助が、生活援助となり、利用者負担が増額になりました。なお、寝具洗濯サービス事業が削除されました。

## 国民健康保険条例の一部を改正

- 健康保険法の一部改正に伴い退職被保険者の一部負担割合が二割から三割負担となりました。

## 介護保険条例の一部を改正

- 平成十五年度から十七年度までの保険料を見直し、平均基準保険料が現行の月額二千八百八十四円から三千六百三十三円となります。

## 水道事業給水条例の一部を改正

- 今まで、法的規則がなかった、ビル・マンション等に設置している十立方メートル以下の貯水槽について、設

置者は清掃・検査等を行い適正な管理をすることに努め、水道事業者はその設置者に対して管理指導・助言および勧告を行うことが定められました。

## 病院事業の設置等に関する条例の一部を改正

- 診療科目の十三科に循環器科を加えて十四科となりました。
- 病床数は一般病床百八十床、療養病床十九床の百九十九床となりました。

## 町立中標津病院使用料及び手数料条例の一部を改正

- 入院期間が百八十日を越える場合に、入院費の一部が医療保険給付対象外となり、差額分患者負担になります。

## 児童デイサービスセンター条例制定

- 法改正により母子通園センターから支援費制度による児童デイサービスセンターへ移行となりました。

## 母子家庭等子育て支援給付金条例制定

- 母子家庭等に養育費や生活資金の一部を支給し、自立支援を図ることを目的に制定されました。



オープン間近な森林公園パークゴルフ場



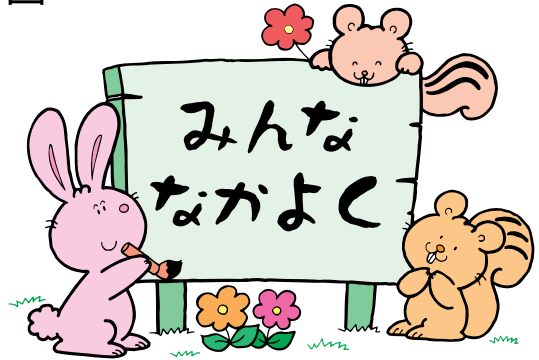
# おめでとう



幼稚園・保育園



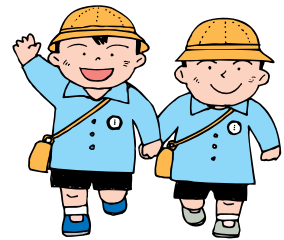
計根別幼稚園の入園式



開陽へき地保育所



星の子保育園で卒園式



議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

中標津町役場 TEL(01537)3-3111  
FAX(01537)3-5333

議会事務局 内線502・503 にご連絡を...

ホームページは [http://www.aurens.or.jp/hp/nakasi\\_t/](http://www.aurens.or.jp/hp/nakasi_t/)  
メールは [nakasi-t@aurens.or.jp](mailto:nakasi-t@aurens.or.jp)

発行 / 中標津町議会

編集 / 中標津町議会広報特別委員会

激しい戦いだつた統一地方選挙が終わり、中標津もようやく春らしくなってきました。戦いの後のしこりを残さず、選挙戦に向けた情熱と力を、まちづくりと地域の発展にそいでほしいものだと考えています。新年度の町財政も、相変わらずきびしい運営になります。みなで知恵を出し合いがんばりましょう。

編集を  
終えて

